



A 旧柴屋住宅 無料
町年寄・庄屋役の高橋家(屋号柴屋)の別宅。文化3年(1806)、伊能忠敬が島の測量のため滞在した。その測量の様子が「御手洗測量之図」として残されている。



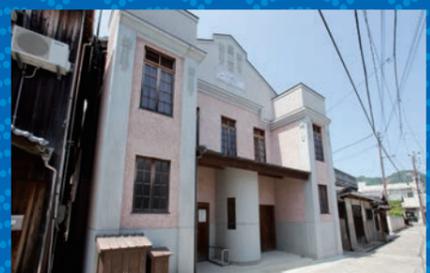
B 旧金子家住宅 有料
町年寄・庄屋役の金子家(屋号三笠屋)が賓客接待のために建てた屋敷。茶室は上田宗箇流。慶應3年(1867)9月に広島藩と長州藩が挙兵の約定を結んだ場所。



C 若胡子屋跡 無料
享保9年(1724)に広島藩の免許を受けたお茶屋(遊郭)の跡。一説には百人以上の遊女がいたという。往時をとどめる奥座敷は、屋久杉を使った贅沢な造り。



D 江戸みなとまち展示館 無料
御手洗の成り立ちや当時の貴重な文物を展示した資料館。当地で没した俳人栗田樗堂の墨蹟や、幕末の志士の来島の記録など、興味深い資料が遺されている。



E 乙女座 有料
昭和12年(1937)、御手洗の文化興隆のために町長が私財を投じて建設した劇場。戦後は映画館として親しまれたが、昭和40年代半ばに廃業した。平成14年復元。



F 七卿落遺跡 無料
町年寄・庄屋役で、延岡藩の御用商人も務めた多田家(屋号竹原屋)の屋敷跡。元治元年(1864)、三条実美ら討幕派公卿が「禁門の変」で逃げ帰る際に逗留した。



拝観施設の利用案内

開館時間	午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)	
休館日	火曜日(祝日の場合は翌日) / 年末年始	
有料施設	旧金子家住宅* / 乙女座(カッコ内は団体料金)	
入館料	一般	200(160)円
	高校生	120(90)円
	小・中学生	80(60)円
	呉市に在住・または呉市内の学校に通学する高校生及び小・中学生 無料	

* 旧金子家住宅の平日見学は、事前に申し込みが必要です。
連絡先 呉市文化スポーツ部文化振興課：Tel 0823-25-3463



G 天満神社
平安時代、菅原道真が太宰府へ流される途中この地で手を洗ったため「御手洗」と名付けられた。奥の「菅公の井戸」の水は、書道上達の靈験があるという。



H 恵美須神社
港の繁栄のために豊前国小倉から祭神を移したといわれる。御手洗で最も古い社。現在の本殿は元文4年(1739)に、拝殿は明和元年(1764)に再建されたもの。



I 満舟寺
平安時代、平清盛が行基作十一面観音像を安置したという古刹。石垣は戦国時代の城跡で市文化財。境内には、俳人栗田樗堂の墓や芭蕉塚、亀跡墓などがある。



J 住吉神社
広島藩が築いた大防波堤「千波子波止」の鎮守として、文政13年(1830)、大阪の豪商鴻池が本殿を寄進。「高燈籠」は庄屋金子忠佐衛門が同じく寄進したもの。